

厚生労働省委託事業 在宅医療・介護連携推進支援事業
在宅医療・介護連携推進事業プラン作成強化セミナー
グループワークの進め方②

(株)日本能率協会総合研究所

セッションⅢのグループワークの進め方

【地域の課題を踏まえた在宅医療・介護連携の対応策を立案する】

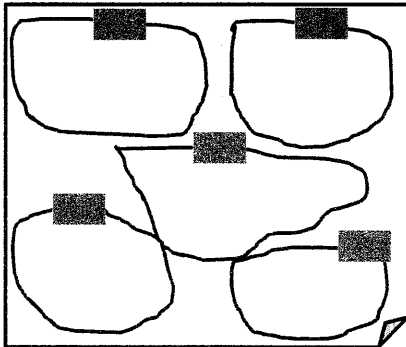
- 対応策の立案・整理は、K J法で行います。
- STEP 1 (①②)、STEP 2の目安の終了時間になりましたら、アラーム音でお知らせしますが、グループワークの時間内で、全て終了できるよう調整ください。
- グループワーク内で対応策等について、積極的にメモするなどしてください。
- 適宜、アドバイザーの方にご質問いただくことも可能です。
- アドバイザー及び傍聴者がグループに参加する場合があります。
- 進め方等について不明なこと等がありましたら、適宜、担当者にご質問ください。

KJ法について

KJ法とは…?

参加者各自の頭の中にあるぼんやりとした意見・アイデアをグループ化し、論理的に整理する手法です。

KJ法の進め方



各自の意見をカードに書き出し（個人ワーク）

- テーマについて、自分の思い浮かべたことをカードに書き出す。
- **1枚のカードに1つの意見**を、大きな字で分かりやすく書いていき、思いつかなくなるまで続ける。

グループ内で共有化

- 模造紙を広げて真ん中に置く。
- **参加者が交替で、カードに書いた自分の意見について説明しながら、模造紙に貼っていく。**
- **同じ意見が登場したら重ねて貼る。**

集約化と見出し付け

- 似たような意見を整理し、そのひとまとまりを表現する表題（見出し）を設定する。
- 出た意見が一通りグループ化されるまで、この作業を繰り返す。

とりまとめ

- 見出し付した意見について、関連する意見や、対立する意見など、意見間の関係性について、線や文字を入れ、全体構造が分かりやすくなるようにまとめる。

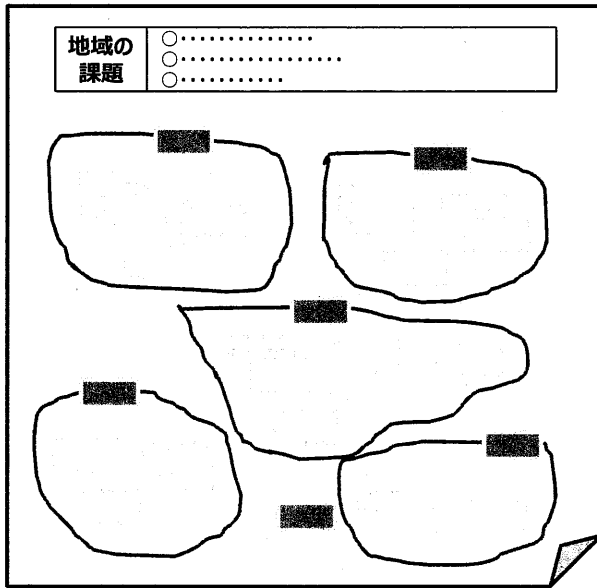
2

セッションⅢのグループワークの進め方（STEP1-2）

<p>STEP1 40分</p>	<p><u>共通の課題について、自地域における対応策を検討し出し合う（KJ法）</u> 先ほどのグループワークを通して整理した共通の課題（弱み等）に対し、自分の地域の課題として対応策を検討し、グループ内で共有・話し合いをします。</p> <hr/> <p>① 課題に応じた対応策をカードに書き出します。 ※個人ワーク 5分（黄色のカードを使用）</p> <hr/> <p>② 個人ワークで書き出した対応策をグループ内で共有し、出された対応策を整理します。 ※グループワーク 35分（見出しは、ピンクのカードを使用 ■■）</p>
<p>STEP2 10分</p>	<p><u>対応策（ピンクのカード）が、8つの取組のどれにあたるか整理する</u> （緑のカード ■■■ にア〜クを記載し、貼り付けます。）</p>

3

セッションⅢ (STEP1) 進め方イメージ(KJ法)



① 課題に応じた対応策を黄色のカードに書き出します。

(個人ワーク：5枚以上書き出しましょう)



② 個人ワークで書いた自分の意見を1つずつ説明しながら模造紙に貼っていきます。同じ意見が出た場合は、重ねて貼ります。



③ 似たような対応策を集めて、対応策の各グループに見出しをつけます。

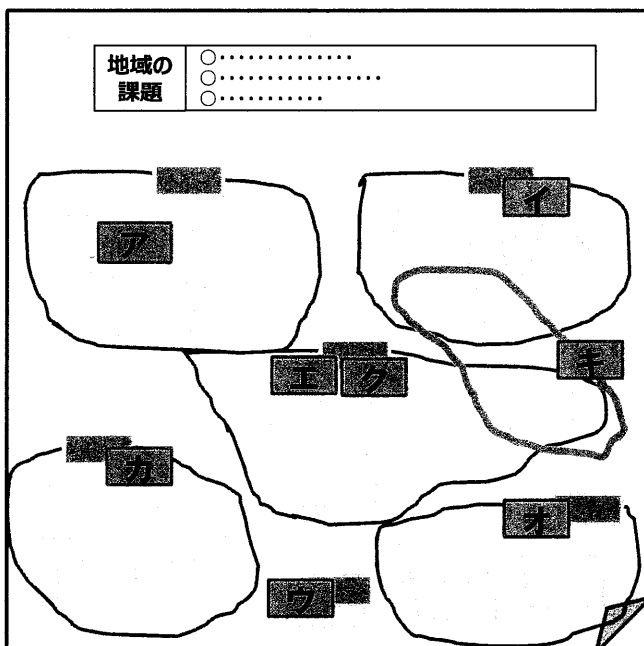
(■■■ ピンクのカード)

4

セッションⅢ (STEP2) 進め方イメージ(KJ法)

④ 対応策 (■■■ ピンクのカード) が、8つの取組 (ア〜ク) のどれにあたるかを整理します。(■■■ 緑のカードにア〜クを記載して貼り付けます)

※対応策のグループ分け (■■■ ピンクのカード) と、ア〜クが一致しない場合もあります。



(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

(カ) 医療・介護関係者の研修

(キ) 地域住民への普及啓発

(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

5